

令和元年度大阪府立泉大津高等学校学校運営協議会（第1回） 議事録

日 時：令和元年7月1日（火）13:00～14:30

場 所：大阪府立泉大津高等学校 応接室

出席者：湯峯会長、浦西副会長、植野委員、安岡委員、田中委員
山田校長、下澤事務長、林首席、森岡首席、中村教頭

1 校長あいさつ

2 出席者紹介〔自己紹介〕

3 会長・副会長選出

湯峯委員を会長、浦西委員を副会長として選出

4 協 議

① 今年度の学校経営計画について（校長）

- ・昨年度の成果を振り返りながら、今年度の重点項目について説明。
- ・ビジネス情報コース解消の経緯説明
- ・「総合的な探究の時間」の取り組みについて説明。
- ・新しいコンセプト（めざす学校像）、新パンフレットの説明。

質疑・応答

Q. 部活動についての指針が出ているが、休日等は確保できているか？ （会長）

A. 部としての活動のない日は確保している。 （教頭）

Q. 入試制度の変更について、具体の説明をお願いしたい。 （委員）

A. 大学共通テストが、思考力・判断力・表現力などをみる記述問題の導入が進められる。英語については、外部試験の活用を進めている。 （校長）

A. 大学側は以前から変える必要があると認識しながら、なかなか改革が進まなかった。変える方向ではあるが問題もたくさんある。本当に変えられるか不安もある。

A0 入試が総合型選抜になります。（会長）

② 今年度の取組み等について

- ・進路状況について 2018年度の結果について説明 （教頭）

質疑・応答

Q. 奨学金をもらって大学進学し、就職ができず返済に苦しむ生徒がいるが。（委員）

A. 大学、専門学校を問わず、奨学金需給希望者はかなりいる。いずれは返済する必要のあるものなので、慎重に考えて希望するよう説明はしている。 （教頭）

A. 奨学金を受けて進学しても途中で退学してしまい、返済だけが残るケースも聞く。
(委員)

・探究の授業について説明 (首席)

質疑・応答

Q. e ポートフォリオは使い慣れてきましたか? (会長)

A. 書き込む練習の段階で、実用には至っていない。 (首席)

A. 使いこなせるようになれば、良いツールである。 (会長)

Q. 探究の授業では1年次に比べ、2年になって生徒の状況は? (会長)

A. 慣れてきたせいか、動きがスムーズになった。クラスによってばらつきはあるが、役割分担は早くなった。 (首席)

A. 知識と協議のバランスが大切。 (首席)

・令和2年度使用教科書採択の進捗について報告 (教頭)

③ 意見交換

・チャレンジテスト、大きな岐路に立っている。どのような方向性が打ち出されるのか? また、教員の働き方改革が叫ばれるが、部活動との兼ね合いも問題となってくる。なかなか答えは見いだせない。 (副会長)

・教員の日常の業務に手を付けないと根本の解決にはならない。学校の外に出す業務を考えるべき。 (会長)

・時間で割り切れない業務もあり、難しい部分がたくさんある。学校がやらなくていい部分を考えていく必要を感じる。 (会長)